



## ■今月の表紙

### 出島メッセ長崎

来年11月の開業に向けて順調に工事が進む「出島メッセ長崎」。

交流人口の拡大による地域経済の活性化をめざすこの施設は、イベント・展示ホール、コンベンションホール、大中小様々なタイプの会議室を24室配置し、大型MICEから小規模会議まであらゆるニーズに対応している。JR長崎駅西口に直結した絶好の立地に加え、ヒルトンホテルに隣接し、国内でも有数の利便性を誇る。

主催者・参加者から「安全・安心」が求められる中、会場が平土間で自由なレイアウトが可能であることや、厚生労働省が推奨する要件を満たした外気を取り入れた換気が確保されること、大容量の通信回線を引き込み、ハイブリッド型や通信環境の強みを活かした催事にも十分対応できることなどが大きな強みになっており、このほかにも様々な感染症対策の工夫を凝らすこととしている。

長崎市、DMO、出島メッセ長崎を管理・運営する株式会社ながさきMICE（運営・誘致は株式会社コングレが担当）が連携するとともに、官民一体となって主催者・参加者の多様なニーズにワンストップで対応することで、長崎開催を成功に導く。

4●視点／新たな世界観を形成するチャンス

6●取材／安全・安心な開催環境と新たな価値創造に取り組む

ひらめきや創造性と出会う「沖縄MICE」

インタビュー：自然、解放感の中でのイベント開催

人を惹きつける「沖縄」の魅力

（一社）日本旅行業協会 ツーリズムEXPOジャパン推進室室長 早坂 学 氏

インタビュー：コンパクトながらリアルとオンラインを組み合わせた

開催が可能な貴重な開催地「沖縄」

（一財）沖縄ITイノベーション戦略センター 専務理事 永井 義人 氏

12●寄稿／長崎国際観光コンベンション協会がめざす

「DMOとしてのコンシェルジュ機能」

長崎国際観光コンベンション協会 古賀 典明 氏

取材：変わりゆく環境、顧客ニーズに沿ったサービスを提供し、

選ばれ続けるMICE開催地「長崎」へ

参加者が長崎を楽しみ地元へ経済効果をもたらす

攻めのオンライン活用提案

寄稿：リアル開催の課題を克服しながら開催地「長崎」を味わったWeb開催

（一社）日本在宅薬学会

16●寄稿／新しいMICEスタイルの検証

旭川ならではの北彩都ガーデンを利用したユニークベニューの実証事業を実施

（一社）旭川観光コンベンション協会 主査 澤田 憲一 氏

19●取材／日本在住外国人向け専門展として初開催の

「EXPAT EXPO TOKYO 2020」が神谷町トラスタワーを会場に開催

22●連載／展示会マーケティング戦略セミ ～出展成果最大化の現場から～

「展示会とは・来場者とは何か」3)

「展示会来場者マーケティング」⑬ 施策の〈表情〉について その44

展示会研究所 代表 辻井 勝 氏

20・21・38●トピックス 25●DMC通信／マンタの散歩 26●MICE映画館

27●全国会場別MICEスケジュール 21・24●北から南から

本掲載は11月13日を基準に可能な限り最新情報を取りまとめておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止等の観点から、催事が中止・延期される場合もあります。また、掲載を見送られた施設もございます。加えて来場区分に「一般」と記載されていても、無観客で開催されるイベントもございます。ご来場等の際には必ず事前のご確認をお願いいたします。また開催催事にはオンラインを活用するハイブリッド形式での開催、中止催事にはオンラインでの開催がある場合もあります。